

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

September 2024 vol.125

September						
S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

◆ 松原スポーツ公園（御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑）

所在地：長野県木曽郡王滝村

交通：中央自動車道「中津川」IC 北約 95km

いまから 10 年前の平成 26(2014) 年 9 月 27 日 11 時 52 分頃、御嶽山で大規模な噴火が発生しました。噴火は剣ヶ峰山頂南西側の北西－南東方向に伸びる火口列から発生し、噴煙高度は火口上で約 7,000m に達したと推定され、大きな噴石が火口列から 1km 程度の範囲に飛散するとともに、火砕流が南西方向に約 2.5km、北西方向に約 1.5km にわたり流下しました。降灰は岐阜県下呂市付近から山梨県笛吹市付近にまで到達したとされています。

火山の噴火には、マグマが直接噴き出すマグマ噴火、地下水とマグマが接触し、地下水が熱せられてマグマを含んだ状態で噴き出すマグマ水蒸気噴火、水蒸気が間接的にマグマに熱せられて噴き出す水蒸気噴火がありますが、平成 26 年の御嶽山の噴火は、噴出した火山灰にマグマ由来の物質が含まれていなかったことから、水蒸気噴火と考えられています。この噴火により、火口にあった石が勢いで吹き飛ばされ、重さ 20kg にも及ぶ噴石が、ものによっては数百 m も噴き上がりました。登山シーズンの天気の良い休日のお昼前で、県内のみならず県外からも多くの登山者が訪れていましたが、同時に噴出した大量の火山灰により視界が遮られ、噴石を避けるのは極めて困難な状況であり、噴石の直撃を受けるなどして、58 名の方が亡くなり、5 名が行方不明となりました。登山者が巻き込まれた噴火による災害としては、43 名が犠牲となった平成 3(1991) 年の雲仙普賢岳のものを上回る戦後最悪の被害となっています。

NHK の web サイト『御嶽山「噴火の証言」戦後最悪の火山災害を動画と証言で伝える』(<https://www.nhk.or.jp/d-navi/link/ontake2014/>) では、登山者が撮影していた映像や写真が、山頂付近で何が起きたのか、登山者たちがどのように身を守り生還したのか、などを伝える貴重な「証言」として公開されています。

災害から 1 年後の平成 27 年 9 月 27 日、王滝村の松原スポーツ公園で御嶽山噴火災害犠牲者追悼式が開催され、国や長野県、岐阜県、山麓の市町村の関係者や犠牲者のご遺族など多くの方が参列しました。また、翌年の 9 月 27 日には木曽町の三岳小学校で犠牲者追悼式が開催され、実行委員長の原久仁男木曽町長が、翌年の追悼式までに慰霊碑を建立することを誓いました。こうして、噴火から 3 年を迎えた平成 29 年 9 月 27 日、松原スポーツ公園内の御嶽山を正面に望む場所に、御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑が建立され、以後、毎年追悼式が行われています。慰霊碑には京都・清水寺の森清範貫主の揮毫による「慰霊」の文字が刻まれ、慰霊碑の横には犠牲者の名前を記した芳名碑と、噴火の教訓を伝える銘文碑が添えられました。



御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑

この噴火災害を契機に、御嶽山王滝口の七合目、王滝登山口には、御嶽山ビジターセンター「やまテラス王滝」が、御嶽山のふもと、道の駅三岳には、「さとテラス三岳」が設置されました。やまテラス王滝は、火山活動や規制の状況を確認しながら登山計画書を提出する場となっており、下



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたくとも、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

山後にはひと休みして、山を振り返る場にもなっています。センター内には4つの展示室があり、プロジェクションマッピングを用いて御嶽山の火山活動の様子が映し出されているほか、御嶽神社奥社社務所（王滝頂上）の屋根を突き破った噴石や遺品などが展示されています。また、天気が良ければ近隣の田の原駐車場から御嶽山を望むことができ、昭和59(1984)年長野県西部地震（vol.117,2024.1号参照）による山体崩壊「御嶽崩れ」の跡も見ることができます。

さとテラス三岳には、名古屋大学御嶽山火山研究施設が併設されており、御嶽山周辺の観測点で得られたデータがリアルタイムで公開されています。また、噴石によって穴があいた剣ヶ峰の御嶽神社祈禱所の壁や衝撃で変形した手すりの実物、多くの犠牲者が発生した八丁ダルミの当日の写真などが展示されています。



(上) やまテラス王滝
(下) さとテラス三岳
写真提供 (3枚共):
(一社) 中部地域づくり協会

平成26年の噴火後も御嶽山は水蒸気を出していますが、量は減少し、基本的には静かな状況となっています。木曽町と王滝村では、平成30年3月に策定された御嶽山防災力強化計画に基づき、山頂付近にシェルターを設置するなど安全対策を進め、御嶽山の開放に取り組んでいます。

日本には111の活火山があり、50の活火山では、噴火の前兆を捉えるため、24時間の観測が行われています。2024年からは8月26日が火山防災の日とされ、意識啓発も進められています。活火山には噴火の可能性があります。普段は景色を楽しむなどしてその恵みを楽しんでいます。活火山であることを、登山者や地域の方々に絶えず意識し、しっかりと防災対策をして備えておくことが重要です。



災と Seeing (19) 御嶽山噴火

(http://www.cck-chubusaigai.jp/sai_seeing/detail_19.html)

もぜひ併せてご覧ください。やまテラス王滝やさとテラス三岳の御嶽山噴火関連の展示の様子を360°カメラの映像で見ることができます。

★ 御嶽神社霊神祭・御嶽神社祖霊殿大祭

王滝村の御嶽神社里宮では、毎年10月第3土曜・日曜に御嶽神社霊神祭が行われます。生前神々に仕え、徳を深め御山の繁栄に尽くされた方々を慰霊する祭りで、土曜には奉納花火が、日曜には餅投げが行われ、特産品の販売や五平餅のサービスもあります。



おんたけ王滝HPより

翌週の23日、24日には、木曽町三岳の御嶽神社若宮で御嶽神社祖霊殿大祭が行われます。御嶽信仰では、御嶽に生まれ御嶽にかえるとの考えから、ふもとに霊神碑を建て先祖を慰霊しますが、碑を造れない信者のためのものが祖霊殿です。23日夜の招魂祭では、覚明社前で慰霊の迎え火が行われ、家内安全などを祈願します。24日の合祀祭では、覚明社から祖霊殿がある若宮まで御輿とともに信者の行列が歩き、若宮で神事が行われます。

～鉄道に学ぶ～

王滝森林鉄道は、木曽の木材を大量に安全に輸送するために敷かれた森林鉄道



王滝村観光案内所 HP より

で、日本の森林鉄道の代表的存在です。

1917年に着工され、木材の輸送に変革をもたらすとともに、沿線住民の生活の足にもなりました。トラック輸送の発達などにより、1975年に全廃されましたが、りんてつ倶楽部さんの尽力により、松原スポーツ公園で車両が保存されています。

●ブレイクタイム●

♪ 松原スポーツ公園

松原スポーツ公園は、御嶽山を望む静かな環境の中に整備された総合運動公園で、整備にあたっては、長野県西部地震で牧尾ダムに流れ込んだ土砂が使用されています。多目的グラウンドや屋内施設のほか、王滝森林鉄道のレールが敷設されており、イベントの際には、保存車両を動かすデモンストレーションも行われます。直近では、10月6日(日)に「王滝村森林鉄道フェスティバル2024」が開催され、運材列車・体験乗車・記念列車の運行が予定されています。(施設の詳細は、王滝村観光案内所(0264-48-2257)へお問い合わせください。)



おんたけ王滝HPより

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆この地域の歴史災害記録をオンラインツアー形式、マップ形式で紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『災とSeeing』のホームページ(<https://www.saitoseeing2020.jp/>)をぜひご覧ください。

(発行: 減斎の会・名古屋大学減災連携研究センター 2024年9月)